

ハローワーク奈良 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

雇用情勢の改善により、求人は増加しているものの求職者が減少していることから、「求人充足支援」を重点と捉えて取り組みを進めることとしました。このため、窓口での職業相談時に求職者の就職希望条件を詳細に聴取し、管内求人を検索・提案して同時に複数の応募を勧奨することで、管内求人の充足促進及び求職者の一日も早い就職に取り組みました。

企業説明会では、求職者の応募の敷居を下げるため応募書類を持たずに企業の説明を聞いてから、応募する求人を決められるようこれまでの面接会から説明会に変更して実施しました。また、業種や職種を合わせた複数の求人者による説明会や、特に人手不足が顕著な介護分野について、開催頻度を増やして開催しました。

求職者減少への対応としては、新規利用者の獲得のためハローワークのPR活動として「ミナーラ」において出張相談を3回、奈良市と共同してイオン高の原において1回実施しました。また、各自治体と郵便局の協力を得て、自治体公民館、郵便局にハローワークのリーフレットを配架していただきました。

さらに、事業所への求人充足支援サービスの提供を強化するために、求人担当と紹介担当者が求人者を訪問して、求人条件の緩和への助言、説明会及び面接会の参加勧奨、求人票以上の事業所情報の収集などを行い、一人でも多くの求職者の紹介に繋がるように取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の専門性を高める観点から、求人部門及び職業相談部門の全職員を対象に、管内事業所を訪問のうえ、職場環境や仕事内容を見学して、求人票に記載できない事業所情報について求職者への提供に努めるとともに、応募時の書類選考に対応するために、履歴書や職務経歴書の作成支援の研修を実施して求職者支援サービスの強化を図りました。また、方向性が決まらない求職者の支援を行うため、GATB検査の実施研修に取り組みました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 利用者の方が、一目でハローワークのサービス内容が分かるよう、イラストを活用するなど若手職員の感覚を導入してサービスメニューのリーフレットを見直しました。
- ② 面接会を説明会に変更することによって、多くの求職者が求人者と面談することが容易となり、双方が採用にむけたマッチングの問題点を認識できました。その後、相互理解の上で採用面接を実施することができるようにしました。
説明会実施回数 34回 参加者数 710人 紹介数 113人 採用数 37人
- ③ 新規受理求人のアピールできるポイントをポップ書きして、「ここがおすすめ求人コーナー」に掲載し、季節感を出したデコレーションを月ごとに入れ替えて玄関ロビーに掲出することにより、求職者の応募促進を図りました。
対象求人数 369人 充足数 66人

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 利用者の方が分かり易い業務の案内や、利用しやすい環境づくりに常に気を付けてまいります。
- ② 企業説明会・面接会の実施について、令和2年度は紹介・求人の連携を密にし、さらに内容を充実させて求人と求職のマッチング効果を高めてまいります。
- ③ 「ここがおすすめ求人コーナー」を継続発展させて、相談コーナーへの誘導を進めます。
- ④ 介護ロボットの導入企業限定による企業説明会を企画します。

(4) その他業務運営についての分析等

事業所訪問の際、撮影をした画像情報をPRシートのみでの活用ではなく、タイムリーに求人票と併せて訪問結果を所内で展示することで、職員の目を通した求人者の印象を求職者に伝える取組を検討します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の就職件 数	公的職業訓練修了 3か月後の就職件 数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓 口での 65 歳以 上の就職件数
実績	4,746	4,593	1,779	38.9%	46.7%	184	377	388	93.6	18,022	1,945	165
目標	4,871	4,798	1,616	41.2%	48.6%	180	376	365	92.7	19,116	2,149	155
目標達成率	97%	95%	110%	94%	96%	102%	100%	106%	100%	94%	90%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大和高田 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

【就職促進の取組み】

- ・求職者へのフォローアップの実施状況について、職員の対応を共有化するための個別管理表の導入により、求職者へのかかわり方等の意識変化が大きく進みました。

【求人充足サービスの取組み】

- ・求人は増加しているものの求職者が減少していることから、「求人充足」を最重要と捉えて重点的に取り組みを進めることとしました。このため、窓口での職業相談時に求職者の就職希望条件を詳細に聴取して、管内求人を検索・提案して同時に複数の応募を勧奨することで、管内求人の充足促進及び求職者の一日も早い就職に取り組みました。
- ・早期あっせん・充足対策求人取扱要領を定め、チームによる求人担当者制充足支援を実施することで、充足件数や選定した早期あっせん求人の充足割合をあげるための目標設定も明確となりました。その上で充足対策求人のフォローアップ状況等の把握に取り組み、有効なフォローアップの分析に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員個々の目的意識と専門性の向上を図るため、個人別の目標管理を実施するとともに、職業相談等において必要な基本業務の研修、キャリアコンサルティング、労働基準法の研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

【求人充足支援の改善】

- ・複数の求人者を対象とした面接会では、求職者が同時に複数応募をしやすいように、業種や職種を合わせた複数の求人者による面接会として実施しました。特に人手不足が顕著な介護分野については、開催頻度を増やし毎月開催しました。

【人材不足分野の支援】

- ・「人材活躍支援コーナー」において、介護職に興味をもつ求職者に介護現場の実態をより理解いただくよう「介護職セミナー」の定期的開催に取り組み、合同面接会の参加へとつなげ福祉人材の確保を図りました。また、運輸業ではバス運転手やトラック運転手の職務内容や労働条件の周知、求職者の掘り起こしを進めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【求人・求職者サービスの改善】

- ・職業相談部門と求人部門の連携を強化する。求職者ニーズや求人者ニーズの共有を行い、個別求人開拓や求職探索を積極的に進めます。
- ・チームによる求人担当者制充足支援を着実に実施します。
- ・職業相談部門からの個別求人開拓リクエストに取り組みます。
- ・就職面接会について求人者からの開催要望が強く、求職者ニーズに合致した対象求人の選定となるよう改善を図っていきます。
- ・求職者担当者制・求人担当者制において、担当者が「その求職者を就職させる」「その求人を充足させる」という高い意識をもち支援に取り組みます。
- ・管内求人を中心とした複数紹介に努め、管内企業の充足支援により意識を持って取り組みます。
- ・雇用保険受給者の早期再就職支援についても、給付係と紹介係が連携した取り組みを行います。
- ・応募書類作成支援及び面接支援等はその窓口、どの担当でも均一に、常時行える体制を作ります。

(4) その他業務運営についての分析等

【高齢者の再就職支援】

- ・高齢期の生活を踏まえた職業生活の再設計や年金受給者である求職者の職業生活に係る相談ニーズが高まる中、「シニア再就職支援セミナー」等を開催、再就職につなぐことができるようなシニア向け求人開拓に取り組んでいきます。

【雇用保険受給者の早期再就職促進】

- ・雇用保険説明会時に事前マッチングを行い、求人情報提供を行い説明会終了後の職業相談につなげる取り組みを行います。説明会終了後の職業相談数の目標を情報提供した半数以上に定めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の就職件 数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓 口での 65 歳以 上の就職件数
実績	5,126	4,460	1,928	42.5%	48.5%	135	368	12,467	2,222	160
目標	5,157	4,539	1,606	44.7%	50.9%	120	360	13,132	2,317	120
目標達成率	99%	98%	120%	95%	95%	112%	102%	94%	95%	133%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク桜井 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

○充足支援サービスの充実

今年度の重点取組事項の一つである「求人充足サービスの充実」を図るため、求人窓口、事業所訪問等において、管内事業所の魅力や詳細情報等を収集し、「求人補助シート」にまとめ、求人担当者が得た貴重な情報を紹介担当者に原則として対面で伝えることとしました。事業所情報を得た紹介担当職員は、当該情報を得たことによって自信をもって相談、紹介できることとなり、就職及び充足の向上を図りました。

○求人者、求職者への個別支援

求人者支援としては、「求人補助シート」等による求人票に記載された以上の情報収集に加えて、魅力ある求人票の作成、応募につながる求人条件の設定に向け、各種資料等を活用の上、助言を行いました。求職者支援としては、求人検索パソコン利用だけの者や求職活動がうまくいかない者を積極的に窓口へ誘導し、担当者制等による職業相談を実施しました。

○ペア方式（就職）による高齢者の就職支援及び求人充足支援を進めるため、事業所に対して、「若年労働力不足は、貴重な戦力である高齢者で補う」ことの必要性を説明し、周知用チラシや管内の高齢求職者の状況資料等を提示し、ペア方式による雇用の導入についての提案（働きかけ）を行いました。取組は、徐々に浸透してきており、事業所からペア就職求人等を確保し、就職支援及び充足支援の向上を図りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

○職員における来所者支援に対する意識の向上と職員研修の実施

所長通信の発行（45回）、相談員会議（5回）、個別面談（3回）等において、取組みの方向性（目的）、取組内容等を具体的に示し、ハローワークの使命、組織目的及び「誰のため、何のための取組みか」ということを常に認識させ、支援における意識の向上を図りました。また、来所者サービス向上に必要なハローワークサービス、雇用保険制度、労働法制、職業紹介の基本について研修を実施し職員の資質向上を図りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

○庁内環境の整理

階段に雑然と貼られていたポスターを整理することによって、すっきりと見栄えが良く、雰囲気明るくなりました。また、期限がすぎているパンフレット等を整理し、適切に配架することにより、正確で効果的な情報提供を行うことができました。

さらに、古くなっていた庁内の案内表示等を新しくすることによって、利用者に適切な情報を与えることができ、利用窓口への誘導もスムーズに行うことができました。

○求人面接会及び企業説明会等の案内表示の改善

求人面接会等の開催にあたっては、ホワイトボードを活用し毎月ごとに季節感あふれる絵や装飾品を施し、利用者の関心・興味を引く内容にしました。利用者からは「見やすくてわかりやすい」の声があり好評で、総合受付等での問い合わせが増えました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○担当者制による予約相談の充実

「就職にあと一押しの求職者」や「正社員を希望するフリーター」等、真に就職支援が必要な求職者を適切に選定し、予約相談による就職支援を積極的に実施していくこととします。

○生涯現役支援窓口事業

令和2年4月1日に「生涯現役支援窓口」が設置されることから、支援チームによる就労支援に取り組む。支援にあたっては、対象者を的確に選定し、ガイダンス（セミナー）、事業所説明会等、当該対象者に適した支援メニューを効果的に実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

○求人充足支援の一層の強化

企業の人材確保を着実に支援するために、求職者ニーズを考慮した良質な正社員求人の確保及び計画的な面接会を開催します。

さらに、積極的な企業（事業所）訪問・見学を行い、企業の魅力等、情報収集を図り、管内求人企業への就職促進を図ります。

○「理想のハローワーク桜井」の構築

地域の皆様から、より一層信頼され、常に利用者の期待に応えることができる雇用相談機関を目指し、職員一人ひとりが主体者となり、求人者及び求職者支援に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	公的職業訓練修了 3か月後の就職件 数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,897	1,373	590	35.7%	50.3%	85	93.9%	4,771	798
目標	1,865	1,344	502	36.8%	49.0%	95	92.7%	5,253	848
目標達成率	101%	102%	117%	97%	102%	89%	101%	90%	94%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク下市 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 就職促進について、的確なマッチングによる情報提供、PRシートを活用した詳細な事業所情報の提供、電話によるフォローアップを継続することで、求職者の一日も早い就職に取り組みました。

イ 雇用保険受給者に対して、最初の来所時の職業相談が重要と考え、雇用保険の手続き後に職業相談窓口へ誘導することで相談時間を確保し、緊要度の把握を的確に行うよう従来からの順序を変更しました。次回来所の初回講習会までに、マッチングのうえ抽出した求人情報を提供することができ、初回講習会終了時や初回認定日における職業相談を充実させることにより早期再就職に繋がるよう取り組みました。

ウ 求人充足支援にも重点的に取り組み、週1回の充足会議や日々の早朝ミーティング時に前日受理した求人すべてについて受理担当者が受理時の状況や求人者が求める人材、仕事内容について説明することにより、全員が情報を共有することができ同じ目線で紹介を行うことができました。また、求人補助シート、求人検討シートを作成し、求人票に記載されていない詳細情報を記載することで職員間での共有を図りました。

昨年に引き続き事業所シートの作成やPRシートの作成を積極的に行うことで、求人情報提供の際同封し、求職者へよりわかりやすい事業所の情報を提供するよう取り組みました。

事業所情報の掲示では、詳細な情報を載せることで事業所にも好評を得ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

10分間研修として、月三回、職員、相談員が講師を務め、担当業務について、他の職員、相談員への研修を実施しました。また、労働局からの通達文書や事務連絡においても、その都度研修を行い、相談員も含め知識の習得に努めました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

庁内掲示の求人票を見やすく、立ち見でもわかりやすくするよう掲示場所の変更等、工夫を凝らすことで求人掲示板の有効活用が図られるよう改善しました。

ハローワークシステムの刷新によりできたスペースの有効活用を行い、パンフレット類の掲示と求人票の掲示の間隔を開けることで人の流れを良くし、掲示している求人票でも長時間見られるようにしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

事業所へのフォローアップが行えたところと行えなかったところでは、求人票の記載内容についても差ができることから、求人票の詳細をいかにして聞き出すか、事業所訪問や見学などを数多く行うことで、生の事業所情報を収集し提供することに力を入れていくよう取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

当地域では、高齢者の割合が高く 65 歳以上の方も少なからず来所されます。高齢者が働ける職場の確保が迫られる状況で、事業所に対してこれからの労働力不足について高齢者の活用を促すよう説明し、求人開拓を図ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,200	1,093	282	37.6%	57.2%	188	3,018	473
目標	1,150	1030	243	41.3%	58.8%	179	3,235	516
目標達成率	104%	106%	116%	91%	97%	105%	93%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大和郡山 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○良質求人確保

求職者が安心して応募できる適正な労働条件の求人票の確保を目指し、未経験者が見てわかりやすい仕事内容の記載になるよう取り組みました。また、収集した求職者ニーズを事業所に情報提供し、ニーズに沿った求人条件緩和などの助言・指導を行うことで応募しやすい求人票になるよう努めるとともに、画像情報の収集、求人検討シート・PRシートの作成により求人票以上の事業所情報が求職者に提供できるよう取り組みました。

○雇用保険受給者の就職促進

雇用保険受給者の早期再就職を促すため、全員に「再就職手当試算表」を配付、早期就職による給付率の違いを「見える化」するとともに、初回講習や認定日の機会をとらえ全員に対する面接相談を実施しながら、担当者制による支援にも積極的に取り組みました。

○生活保護受給者等の就職促進

生活保護受給者の就職を促すため、大和郡山市・中和福祉事務所と一層の連携を図りながら個別支援に取り組みました。

○障害者の就職促進

障害者の就職を促すため、ハローワークが中心となり関係機関と「チーム支援」を実施し、企業と障害者のマッチングに取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○「見やすく・わかりやすい」掲示のために

よりよいサービスを目指し、入口正面エントランスの庁舎案内図を改善しました。また、正面エントランスから2階へ続く階段の壁面にポスターが目につきやすくなるようホワイトボードを、2階給付窓口の待合には職業訓練パンフレットスタンドを設置しました。

また、1階フロアの求人掲示板には、画像情報を添付する、POP表記・吹き出しによるコメントを追加するなど、求人票以

上の情報を分かりやすく来所者に提供できるよう工夫しました。

○人手不足分野（福祉人材・正社員）の人材確保のために

ミニ面接会を毎月定期開催しました。一人でも多くの方に参加いただけるよう、POP表示でわかりやすく工夫した案内板（スタンドボード）を入口前に設置し、正面エントランスには事業所案内パンフレットや事業所の製品を展示できるスペースを確保しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○正社員就職の向上

求職者担当者制と応募書類作成支援等による集中的な就職支援、求人情報提供後や職業紹介後の定期的なフォローアップなどの取組による改善を図りました。また求職者の来所を促し、職業相談から職業紹介への誘導を図りながら、能動的マッチングと紹介後のフォローアップに引き続き積極的に取り組めます。

○求人充足に向けて

「求人充足対策チーム」による充足支援、求職者支援を引き続き進めていきます。事業所訪問に紹介部門の職員が求人部門と同行することで、求職者情報を事業所に提供し、求人条件の緩和に取り組んできました。引き続き、訪問により細かな事業所情報の収集や求人票に記載されている業務内容の理解を深めることで、今後も求職者支援の充実を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

○職業相談のレベルアップに向けて

求職者支援のために幅広い知識と業務への理解を進めるため、所全体の業務研修について、各事業担当者を講師として実施しました（生活保護受給者支援業務、職業訓練業務、若年者早期就職支援業務、雇用保険業務、職業紹介業務など）。今後も職員の担当業務に関するスキルの向上を図ります。

○地域と連携した取組

大和郡山市、昭和工業団地協議会などとの共催で商業施設での出張ハローワーク相談会、事前事業所見学バスツアーおよび合同面接会を開催し、前年を上回る参加者を集めることができましたが、年度後半に予定していたバス見学会、面接会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。次年度においても、地域と連携したイベント等の取組を継続していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対す る紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	学卒ジョブサポータ ーの支援による正 社員就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,886	1,580	849	38.1%	44.5%	79	278	5,834	871
目標	1,854	1,483	649	37.9%	46.3%	77	276	5,830	900
目標達成率	101%	106%	130%	100%	96%	102%	100%	100%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率